

教育支援 (幸せの子どもの家)



プロジェクトの背景

ポルポト時代に家族を失った経験を持つソカ氏の孤児院設立の構想に対して、2002年に当会が施設を建設し、創設に携わった。贈呈式は2002年11月30日。主にゴミ山で生活していた孤児等を調査面接し、就学意欲のある16人に支援から開始した。CCHはCenter for Children's Happinessの略称。日本語では「幸せの子どもの家」と呼ぶ。カンボジアのNGOとして正式に登録されている団体で、設立当初からソカ氏が所長を務める。これまでに在籍した子どもの数は251人。2017年3月1日現在、75人の子どもたちが生活している。また、CCH内で運営されている小学校には、CCH内部の子ども46人の他に、外部の子ども102人を受け入れている。



CCHが運営する小学校に通う子どもたち

メッセージ

『日本の支援者の皆様へ』

CCH所長 (理事) メチ・ソカ



人々のニーズに合わせた教育

CCHは教育を私たちの任務の最優先事項と考えています。

CCHは148人(CCH内部46人、外部102人)の小学生全員に知識、技能、態度などを育む教育を提供しています。

実際にCCHを巣立った101人の卒業生は、家族の中で、およびカンボジアの社会の中で、自立し、さらに相互に助け合うことができるような仕事をしています。また、外国の大学を卒業した5人の学生のうち3人は、帰国してカンボジアで仕事をしています。

CCHは、若い世代を中心に人材を育成しています。この世代は、現在CCHのリーダーを務めるためのさまざまな社会活動に励んでいます。手短かに言うと、多くの経験を積んで、CCHのリーダーになるための準備をしています。

スキル

CCHはコンピュータ、料理、裁縫、英語などのスキルを小学校4年生以上に教えています。小学生が進級して中学1年生になると、本格的なスキルを学び始めます。よい仕事を得るために、18歳以上になったときを想像し、熟練した技能技術者になれるようにスキルを学びます。大学へ行きたい学生は、昼間に仕事をして、夜間に勉強して、学位や学士号を取得することもできます。

ドン・ボスコ職業訓練センター

ドン・ボスコはカンボジアで最高の職業訓練センターのひとつです。2009年から現在までに、CCHの49人の生徒(男性36人と女性13人)が学んできました。

本学年度は、合計11人がドン・ボスコで学んでいます。

2年生:7人(男性5人、女性2人)

1年生:4人(男性4人)

ドン・ボスコを2年で卒業したCCHの生徒は、高級ホテルやリゾートで働くことで良い給料をいただき、毎月500ドルも稼ぐ卒業生もいます。

高等教育

CCHで生活する29人が中・高等学校で勉強しています。5人がカンボジアの大学で勉強しており、2人が米国(大学4年生)で勉強しています。

CCHの生徒全員が、日本の支援者の皆様に感謝の意を表します。その支援により、CCHの生徒はより良い未来のために各自の人生を変えてきました。

この機会にJHP代表の小山内美江子さん、JHP職員、およびJHPサポーターの皆様々に感謝の意を表します。この一年の皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。



CCH内にある小学校の授業風景



スタッフから裁縫を学ぶCCHの子どもたち



コンピューターの使い方を学ぶ子どもたち

項目	総数	男子	女子
小学生	46	21	25
中学生・高校生	29	18	11
小計 (CCH現在数)	75	39	36
ドンボスコ職業訓練校籍者 (卒業後寮で暮らす3名含む)	14	11	3
自立している 高校生。大学生	50	22	28
社会人 (CCH卒業生)	101	62	39
カンボジアの大学在籍者	5	1	4
海外のインターナショナルスクール在籍者	6	2	4
支援者総数	251	137	114

2017年3月1日現在